

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/04/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 利食い売り優勢に、中東情勢は緊迫化

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半まで急落する展開になった。80ドル台中盤から後半の高値圏で揉み合う展開が続いていたが、短期的な過熱感から調整売りが膨らんだ。4月22日に5月限の取引最終日を控えていること、米早期利下げ観測の後退で米金利上昇・ドル高圧力が強まったことなどを手掛りに、短期筋が利食い売りに動いた。週末を前にイランで爆発が報告されると地政学リスクの織り込みで急伸する場面も見られたが、82ドル台前半で週末を迎えた。

4月19日にイラン中部で爆発が報告された。13~14日にイランがイスラエルに対して報復攻撃を行ったことに対応して、イスラエルがドローン攻撃を実施したとみられる。イランとイスラエルの双方が詳細を明らかにしていないため、実際に何が起きているのか詳細は明らかになっていないが、報復攻撃の応酬が始まったリスクが警戒された。ただし、攻撃・被害の規模はともに限定的との見方もあり、一時85.64ドルまで急伸したものの、週末に向けて一気に買い進むことは見送られた。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (4月12日時点) は、原油が前週比274万バレル増、ガソリンが115万バレル減、石油精製品が276万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 中東情勢の進展みながらも、調整売り一巡後の反発か

中東情勢が不安定化しているため、原油相場の値動きも活発化しやすい。仮にイスラエルとイランが報復攻撃の連鎖に陥ると、供給不安の織り込みが強化される形で急伸する可能性がある。一方で、イスラエルが報復攻撃について21日時点でも発表を見送っていることは、報復の応酬を避ける狙いとも言われており、イスラエルとイランの両国が軍事的緊張のエスカレートを避けるために自制を見せると、原油相場も徐々に落ち着きをみせよう。まだ状況は流動的であり、両国の動きをみながら急伸地合形成の必要があるのかを判断する局面になる。

ただし、いずれにしても中東情勢が不安定化していることに変わりはなく、前週の急落を受けて値ごろ買いが膨らみやすい。22日に5月限の取引が終了すると、6月限に対してプレミアムを加算する形で地合を引き締める可能性が高い。まずは80ドル台中盤から後半にかけての4月前半に形成された取引レンジ回復を打診する展開になろう。

中東情勢の不安定化以外にも、ロシア産の供給不安、石油輸出国機構（OPEC）プラスの自主減産継続、ドライブシーズンに向かう季節要因など、短期需給には買い材料が目立つ。

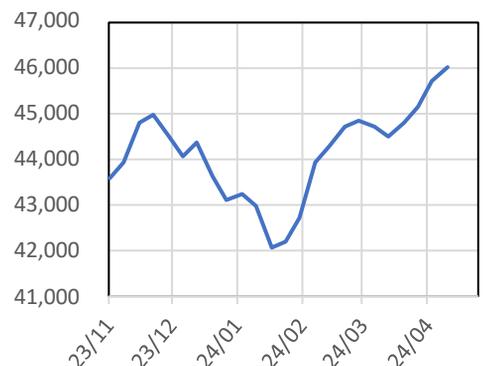
一方、米連邦準備制度理事会（FRB）の早期利下げ観測が後退し、米金利上昇・ドル高圧力が強くなっていることはネガティブ。26日には3月米PCEデフレーターが発表されるが、インフレ懸念の蒸し返して、FRBの利下げが困難との見方がドル高やリスクオフ化を促すと、もう一段階の調整売りを迫られる可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



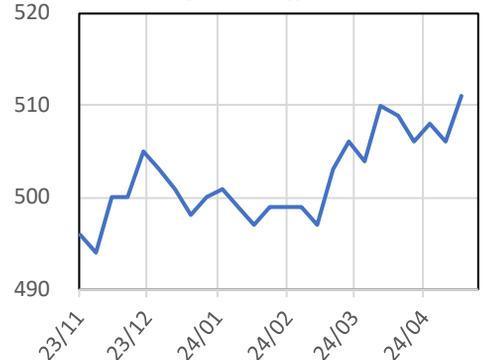
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

